

研究部から

「校内研究について」

本校では令和6年度より、聴覚障害教育に経験豊富な助言者の先生（村野一臣先生：元東京都立立川ろう学校長, 現東京学芸大学教職大学院特命教授）から助言をいただきながら、「葛飾ろう学校で育てたい力 ～キャリアと心のみがき、未来を拓く子供を育てるために～」をテーマに、全教職員で研究を進めています。

0歳から20歳までの幼児・児童・生徒が、本校での学びや経験を通して、“自分らしく” “自信をもって” 社会の中で生きていける人に育つことを目指しています。

3年間の研究の流れ

令和6年度（1年目）： 学部をこえて話し合い、目指す幼児・児童・生徒像を整理

昨年度（2年目）： 目指す姿をより具体化し、重点となる指導内容・方法を整理し実践

今年度（3年目）： 実践から見えた課題と改善点を整理し、誰でも実践できる形にまとめ、関東地区聾教育研究会（定例研究会）で発表します。

「葛飾ろう学校で育てたい 8つの力」

本校では、子供たちの成長に欠かせない8つの力を大切にしています。

● 土台となる2つの力

学ぶ力（自学力）

日常生活（生活習慣・金銭管理など）

● 支える6つの柱

- 自己理解
- 卒業後の生活
- 感情のコントロール
- 場に応じた伝え合い
- 書く力
- 話す力（手話・書き言葉など）



助言者の先生からの主なアドバイス

- 「どのような子供を育てたいか」を全教職員で明確にし、共有する。
- 学部をこえたグループで、実際の教育内容を共通理解し合う。
- 「仮説 → 実践 → 振り返り」を繰り返し、日々の教育活動に生かす。
- 毎日の小さな実践の積み重ねが、聴覚障害教育の専門性向上につながる。

この4点を踏まえて、今年度もより良い学校づくりのため、研究を続けて参ります。

おわりに

葛飾ろう学校では、子供たちが将来、自分らしく、たくましく生きていけるように、教育活動と研究を結びつけながら取り組んでいます。

今後も保護者の皆様と連携しながら、一人一人の成長を全力で支えてまいります。

次号では、各グループの具体的な取り組みをご紹介します。

研究部主任 鈴木恵美